

団体道場紹介



無双流居合・剣術 二天剣術

大阪修武会 太田 淳一

一、流儀の特徴

無双流は、正心術たるをもつて、心を鍛錬し、素直な心、心の抜きを体得すべく修練します。武道とは心の修行である、とは 先代の父よりの教えの第一でありました。

熊本にあつて家伝の流儀ではございましたが、伝書等の散逸により、今日では、残念ながらその道統は分明ではありません。齢八歳の折、心して父より無双流居合、剣術、二天一流と習い始めましたが、文字通り身をもつて体で習い覚えてまいったわけでございます。

武道とは攻めるものにあらず、身を守る技であるという厳しい教えを座右に、ひたすら修行に打ち込んで今日に至り、現在は門弟と一丸無双流居合、剣術、ならびに二天剣術の稽古を通し、弛まぬ修行を続

けております。

無双流は、居合術と剣術から成り、表の形としては居合十二本、剣術十一本を伝えています。

技の特徴は、一に正しき姿勢をもつて敵に正対すること、二にまず我が身を守ること、三には常に敵を牽制し、抜き付けにおいてすら剣先を相手から逸らさぬところにあります。また、応変の気構えを重視し、いついかなる場合にも状況に対応し得る心身の態勢を求めます。

二天一流の剣術にあつては、ここに長舌を弄する愚には及びませんが、本会においては、むしろ技の正確は申すまでもないことながら、心において、強く、大きく、堂々と、気位を重視して稽古しております。

二、活動状況

本部 大阪市城東区野江四一

三十二十七 榎並会館

稽古は毎週土曜日

午後六時～九時

淡路島支部 毎週日曜日

年間六回程度、大会演武等に参加しております。

